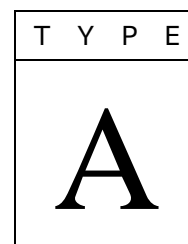


1 級模擬試験問題



- 受験上の注意 -

1. データ保存も含めて60分以内に解答することが望ましい。
2. フロッピーディスクを用意し、本試験と同様に保存する。保存形式は指定された中間ファイル（DXFまたはBMI）で行い、データ保存時のデータ名は、Aとして保存すること。（必ず半角英数字とし、データ名のご記入及び指定以外のファイル形式は不合格となる）
3. スケールは1：1とする。用紙のサイズはA3横、単位はすべてmm（ミリメートル）とする。
4. 最初に設問1、設問2を完成させること。（設問1、設問2が不正解の場合は不合格となる）
設問3の1～3は、任意の順番でよい。
各問いの指示に従って、作図区画を間違わないようにすること。
5. 仕上がり線以外の要素（補助線・下書き線など）は全て削除すること。

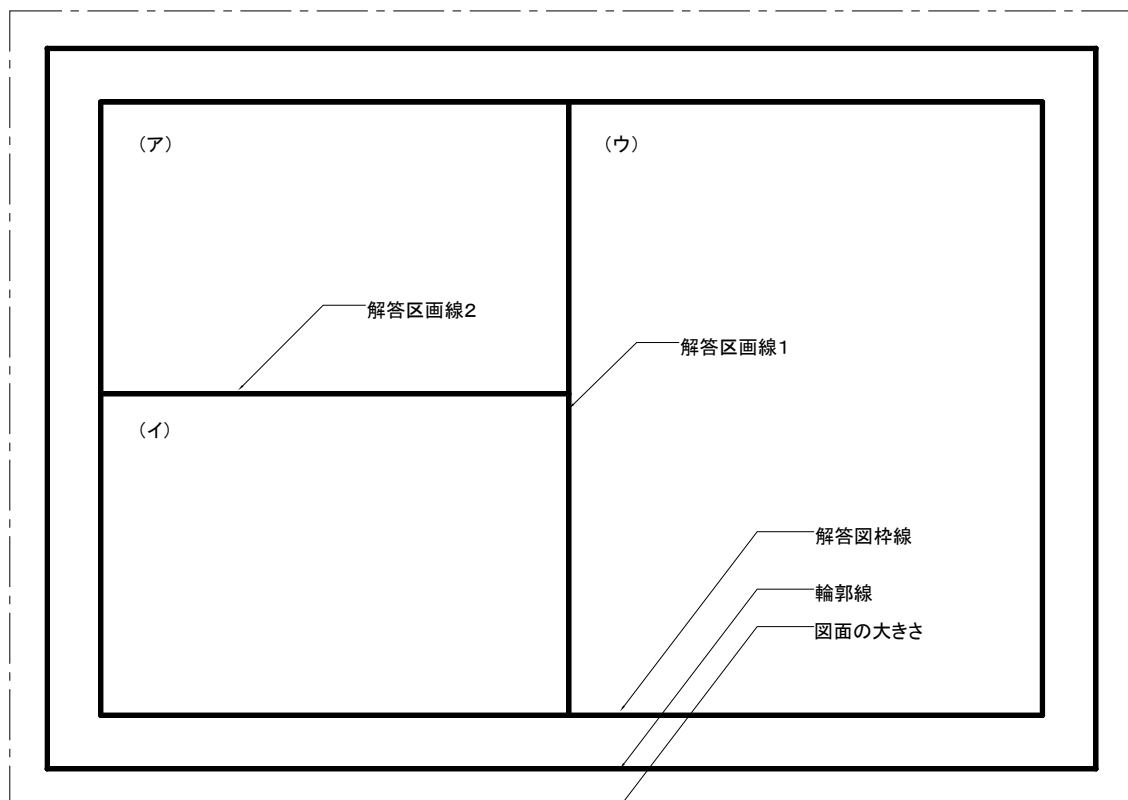
設問 1

輪郭線、解答図枠線、解答区画線を実線で描きなさい。ただし、作図条件にない作図補助要素は残さないこと。

< 作図条件 >

1. 図枠の大きさは A3 (寸法 297mm × 420mm) とし、長辺を横方向とすること。
2. 用紙の縁と、図を描く領域を限定する実線の輪郭線とによって囲まれた輪郭の幅は 14mm とすること。
3. 解答する領域を限定する解答図枠線は輪郭線の内側にあり、輪郭線との距離 20mm の実線とすること。
4. 解答区画線 1 は解答図枠線の左側から距離 175mm の垂直な実線で、解答図枠線上に始終点をもつこと。
5. 解答区画線 2 は解答図枠線の下側から距離 120mm の水平な実線で、解答図枠線上に始点 (または終点) 解答区画線 1 上に終点 (または始点) をもつこと。
6. 解答図枠は、解答区画線により 3 区画に分割され、各区画のうち左上の区画を (ア)、左下の区画を (イ)、残りの区画を (ウ) とする

【 参考図 】



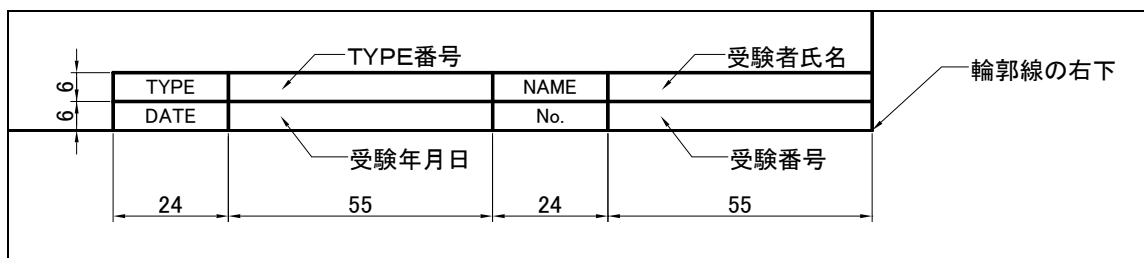
設問 2

配置図に示す表題欄を実線で描き、項目および対応する適切な文字を記入しなさい。ただし、配置図に示した寸法値、注記、およびそれらに属する要素は作図不要な要素とする。作図条件にない作図補助要素は残さないこと。

< 作図条件 >

1. 文字は英語または日本語で、TYPE 欄には試験問題の表紙に記載した TYPE 番号、DATE 欄には受験年月日、NAME 欄には受験者の名前、NO 欄には受験番号を記入すること。
2. 文字の高さは 3mm または 10.5P (約 3mm) で文字幅、書体、文字間隔は自由な設定値とする。ただし、文字は枠内におさめること。

【 配置図 】



設問 3

図 1 に示す立体（ソリッドモデル）を設問 3-1 から設問 3-3 の作図条件に従って、第三角法による投影図（正面図、平面図、右側面図）を、現尺で、隠れた部分の外形線および稜を表す線を含めて作図しなさい。ただし、それぞれの配置図に示した一点鎖線（中心線を含む）寸法値、注記、およびそれらに属する要素は作図不要な要素とする。作図条件にない作図補助要素は残さないこと。また、図中の等長記号（||：平行な 2 本の短縮線）が付加された要素は等長である。

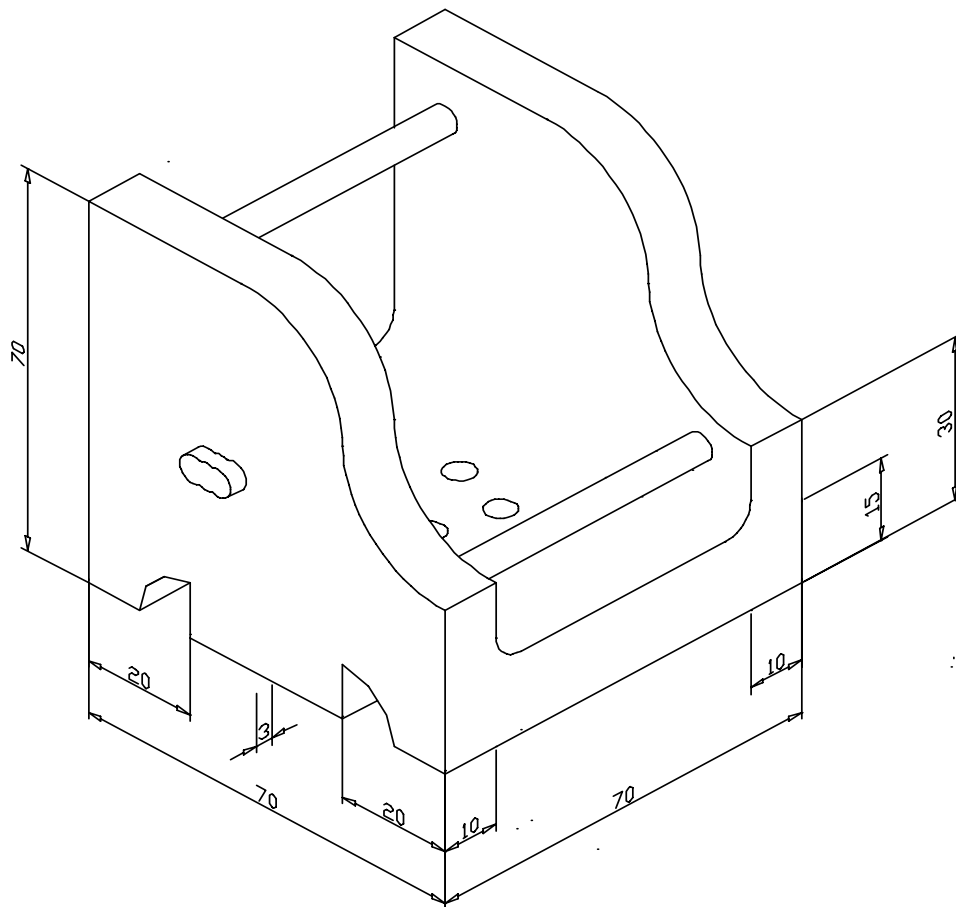


図 1 立体（ソリッドモデル）

設問 3-1

配置図を示す位置に、図1の立体（ソリッドモデル）の正面図を描きなさい。

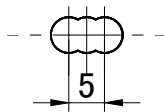
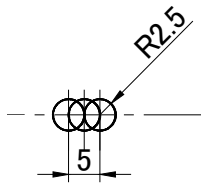
<作図条件>

正投影された図だけ作図すること

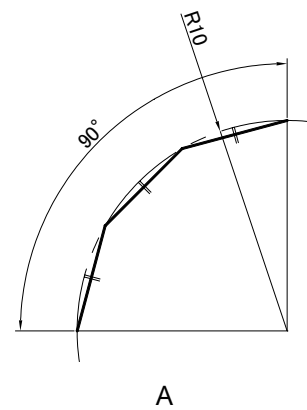
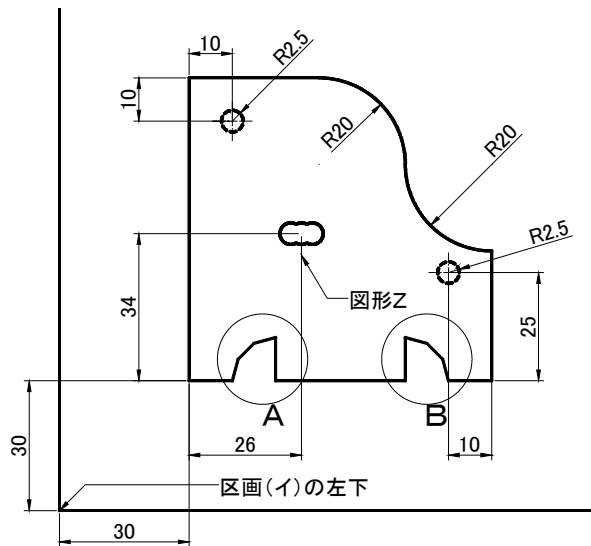
図形Zは半径2.5であり、3つの円の中心点と右端の中心点の間隔は5である

【 図形Zの作図手順 】

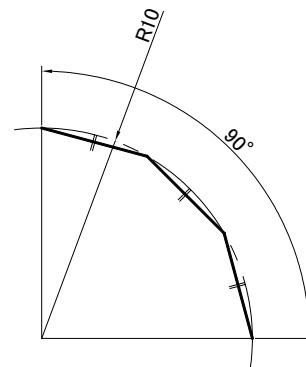
【 図形Zの完成図 】



【 配置図 】



A



B

設問 3-2

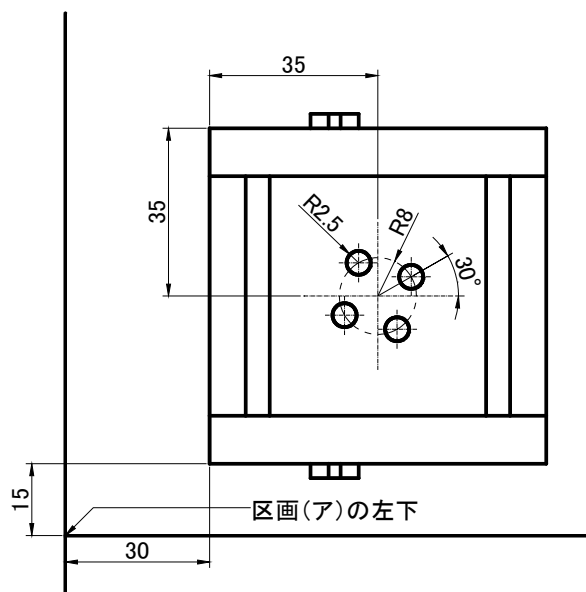
配置図に示す位置に、図 1 の立体（ソリッドモデル）の平面図を描きなさい。

< 作図条件 >

半径 2.5 の 4 つの円は、底部まで貫通している。

半径 2.5 の中心点は半径 8 の円周上に 4 つ配置されている

【 配置図 】



設問 3-3

配置図に示す位置に、図 1 の立体（ソリッドモデル）の右側面図を描きなさい。

< 作図条件 >

特になし

